

放送日 平成28年5月9日（月）

担当者 消防長 山崎 克彦

おはようございます。4月から消防長となりました山崎です。消防は初めての部署であります、新たな視点に立ち、最善を尽くしていきたいと思っています。

私は、常々、仕事を進めていく上では、公平で慎重に、また、迅速で正確に取り組んでいかなければならないと考えています。そのためには、月並みではありますが、「報告・連絡・相談」が非常に大切なことであると思っています。

皆さん、「そんなこと当たり前だ」と思っているかと思いますが、何を？いつ？どのタイミングで？どのように？などと考えてしまうと、これがなかなか難しくて面倒であると感じていませんか。

いろいろ調べてみて、実践するにあたっての心がけでなるほどと思ったことがあったので、ご紹介したいと思います。

1つ目は、仕事の連携です。仕事は基本的に一人ではできません。同じ目的、目標を持った人たちで仕事をする限りチーム戦です。

2つ目は、情報の共有です。チーム全員が事前に情報を共有しておくことで、意思決定をスムーズに進めることができるし、不測の事態にも即時対応できます。

3つ目は、コミュニケーションの活性です。いつもオープンで風通しの良い明るいチームには、必ず良い結果が生まれます。

「報・連・相」が重要であることは分かってるわ！という方、言わなくても相手には十分に伝わっていから大丈夫！という方も、効率的な仕事をするため、大きなトラブルを未然に防ぐためにも、是非、この3つのことを心がけて「報・連・相」を実践していただきたいと思っています。

とうとう、ゴールデンウィークも終わってしまいました。今日から新たな気持ちで仕事に取り組みましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月10日（火）

担当者 企画財政部次長兼政策推進室長 川村 裕樹

おはようございます。企画財政部次長兼政策推進室長の川村裕樹です。

人口減少問題が全国的に取り上げられ、その対策に向け各自治体で総合戦略を策定しました。北広島市でも各種推計をベースに人口の将来展望を発表し、今後「人口は減る」ということを明確にしました。

これまで、なかなかそうした現実を直視せず、右肩上がりを目指して、様々な事業に取り組んできましたが、これからは「人口は減る」という共通認識のもと、まちづくりを進める必要があります。この人口減少をマイナスにとらえるか、プラスにとらえるか。私は、プラスの発想で子どもから高齢者まで多世代がバランスよく住み続けられるような、北広島市にあった仕組みづくりを早急に構築していく必要があるものと考えています。そのためにも、部局を横断的に連携させ、これまで以上に効果を生む事業を考え、実施する必要があります。その先頭に立って進めていくのが企画財政部政策推進室の役割だと考えています。そのためにも、日々の情報収集と、各部局とのコミュニケーションを通じた「気づき」が大切だと感じています。

先月初め、新任職員研修で講義をさせていただきました。講義に先立ち、突然でしたが1分間で自分が考えるまちづくりについて発言をしてもらいました。皆さんに共通していたのは、「安心して幸せに暮らせるためのまちづくりの追求」でした。この考え方は世代が変わっていても今も昔も変わりません。これまで諸先輩達が築き上げてきたまちを、新しいまちとして再生するため、見えてきた課題を将来の視点を持って、一つ一つ解決していく必要があります。私は、この積み重ねがこれからのまちづくりの肝であると考え、日々の業務に取り組んでいきたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月11日(水)
担当者 総務部次長 川合 隆典

おはようございます。総務部次長の川合です。

私は、現在、道央廃棄物処理組合に派遣されています。今日は、この道央廃棄物処理組合について簡単に紹介させていただきます。

道央廃棄物処理組合は地方自治法で規定されている特別地方公共団体で、廃棄物焼却施設の設置、管理及び運営に関する事務を共同処理するために、平成26年2月に設立許可されました。

組合は、千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町及び栗山町の2市4町で組織されており、行政区域面積は約1,301km²、人口は約19万人です。

組合事務局の事務所は、千歳市美々の千歳市環境センター内にあります。また、職員全員が構成市町からの派遣職員で、千歳市から4人、北広島市から3人、栗山町から1人の計8人で運営しています。

組合では、平成36年の焼却施設稼働に向けて準備を進めております。昨年度末には千歳市根志越地区を焼却施設の建設候補地として決定し、その経過と結果について、3月に北広島市を含めた2市4町の住民を対象とした説明会を行いました。

今後は、候補地の地権者及び周辺住民の同意と理解をいただきながら、用地の取得や各種設計業務等、施設建設に向けた事業を進めていきます。

北広島市については、施設稼働の際にはゴミの分別が大きく変わりますので、組合としても北広島市と緊密な連携をとり、適正な分別方法の周知に努めてまいります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月12日(木)

担当者 保健福祉部子育て支援室長 木下 隆司

おはようございます。保健福祉部子育て支援室長の木下です。

子育て支援室ができて2年目に入りました。子育て支援室は、保健福祉部の中の保育課、児童家庭課、地域子育て支援センター、こども発達支援センター、3か所の市立保育園などのほか、12か所の学童クラブ、3か所の児童センターも所管しており、子育て支援やひとり親家庭の支援、子どもの権利擁護などを担当しています。

昨年4月から子ども・子育て支援の新制度がスタートし、今年3月に策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、子育て支援の充実を図ることとしています。また、ひとり親家庭に対する支援についても拡充に努めているところです。

全国的に少子高齢化と言われて久しいのですが、北広島市においても少子化が進んでいます。この5年間でみると、小学校入学前の子どもが362人、約14%減少し、小学生は465人、約13%減少しています。

一方では、保育園や学童クラブを利用する割合が年々高くなり、施設の確保も、人材の確保も必要になってきます。しかしながら、保育士などの専門職については、求人の倍率が近年特に高くなっており、かつてないくらいに確保することが難しくなっています。

皆さんのお知り合いのなかに、資格を持った方がいて、もし働く場を探そうとしている場合には、ぜひご相談をいただければありがたいと思っております。

子育て支援室では、「安心できる子育て」の実現に向けて、各種事業に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月13日（金）
担当者 経済部産業振興室長 佐々木 伸

おはようございます。経済部 産業振興室長の佐々木でございます。

産業振興室は、「企業誘致、工業振興などを所管する工業振興課」と「商業振興、雇用対策などを所管する商業労働課」が統合され、本年4月の機構改革により新たに設置されました。既存の企業はもとより輪厚工業団地や市内に新たに進出する企業支援の強化に加え、「北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業にも取り組んでまいります。

本年度の主な事業としましては、働きたい女性のための合同企業見学会や再就職支援を実施し、育児や出産等で「仕事に復帰したいけれどブランクがあって不安」「家庭と両立させるのが不安」など働くことに不安を抱える女性の就職意欲の促進を図ってまいります。

また、輪厚工業団地の早期完売を目指すとともに、既存の商工業振興策についても既成概念にとらわれない創意工夫とスピード感を持った行政運営に努めてまいります。

さて、市長からはじまりました朝のスピーチでは、挨拶の大切さが強調されているところですが、私が所属する経済部では、毎朝、部全員で朝礼を行い始業時のスイッチをいれています。その内容と効果をこの場をお借りしてお話しさせていただきます。まずは「おはようございます」の挨拶にはじまり、部長が日替わりで指名する職員のスピーチとスピーチを受けた部長のコメント、最後に「今日も一日よろしくお祈りします」という簡単なものです。

スピーチ内容に特に決めはなく、仕事の話、家族の話、週末の趣味の話など何でもオッケーです。各職員が人前で臆することなく自分の意見を言う練習にもなりますし、「事業やイベントなどで一日空席にするので、窓口対応など隣の課のサポートが必要です。」などの情報共有の場にもなっています。この朝の始業スイッチにより、経済部の職員は朝からとてもハツラツとして賑やかです。時には羽目を外してうるさ過ぎることも有りますが、隣の課や隣の人が何をやっているのか分からない職場もあると聞く中で、楽しく、厳しく、そして親切な職員が沢山揃っている職場です。市民や企業への対応において好評の声が寄せられることもしばしば有り、とても良い組織だと思っています。市役所全体がこの様な職員が沢山いて、気持ちの良い挨拶が行き交う職場になると、これはもう1つのシティセールスの資源になるのではないかと思います。

最後に私が職員として大切にしていることは、「誰も見ていなくても、おてんと様が見ている」という姿勢で仕事に向きあうことを心がけています。公私ともに沢山の皆さんに支えられ、お世話になり、今の自分があるという感謝の気持ちを忘れることなく、これからも仲間を大切にしていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月16日（月）

担当者 教育部次長 鹿野 秀一

おはようございます。教育部の鹿野です。

私は中学校の校長を一時退職し、昨年4月から教育委員会でお世話になっています。子どもを主役に据えた教育に取り組んできた学校現場での経験を、教育行政の場で生かそうと、誠心誠意業務を進めているところです。

さて、教育委員会では、平成30年度から全市一斉の小中一貫教育導入を目指し、具体的な取組に入っています。

小中一貫教育は、小中学校9年間をひとまとまりとして捉え、中学卒業時のめざす子ども像を共有しながら、系統的で一貫性のある学びを連続させること、異校種間の交流による豊かな人間性の醸成、合同研修等による教職員の指導力向上など、より質の高い学びを実現させていこうとするものです。特に、本市におきましては、児童生徒の実態を踏まえた教科指導の充実、夢に挑戦する心の醸成をめざした大志を育む教育の推進、中学校区ごとのスタンダードによる学習・生活習慣の確立、地域のよさや特色を生かした教育活動の工夫などに取り組み、確かな学びを構築していきたいと考えています。

現在、各学校において教育計画づくりを進めようとしていますが、小中一貫教育は、子どもに関わるすべての人が、義務教育修了時点の子どもの姿に責任を持ち、子ども一人一人の学びを支えることにより成り立つものです。学校だけではなく、地域ぐるみの協働した取組にすることが大切になってきます。そうすることで、地域で子どもが育ち、そして、将来的には地域の活性化、魅力あるまちづくりにもつながっていくものと考えています。

私は子どもたちに、挨拶は人の心を変える、社会を幸せにする「魔法の言葉」だよ、と指導してきました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月17日(火)
担当者 教育部次長 櫻井 芳信

おはようございます。教育部次長の櫻井です。

最近、忙しいとき、イライラしているとき、ふと、「笑顔を忘れていなかっただろうか」と思った瞬間がありました。今日は、笑顔の効力についてお話ししたいと思います。

笑顔になるためには、目の周りや頬の筋肉を動かし、目尻を下げ、口角を上げる必要があります。顔の色々な筋肉を鍛えることとなります。さらに、笑顔によって「楽しい」という感情に関連する脳の部分が活性化されるという研究結果もでていそうです。笑顔は、顔の筋肉を鍛え、表情をイキイキさせ、若返りや、脳を活性化させるなど、様々な効果が期待できるのです。一つ目の効果です。

とはいっても、楽しくもないのに笑えるかという方もいると思います。安心してください。楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいという「ランゲ説」という理論があります。また、目の前にいる人が、楽しそうにしていると、自分も楽しい気がしてつい笑ってしまうという「ミラー効果」という理論もあります。職場で、あなたが楽しそうに笑顔でいると、「ミラー効果」で周りに波及し、周りもつられて笑っているうちに気持ちが楽しくなってくるという「ランゲ説」と「ミラー効果」の相乗効果がうまれるのです。みんなが楽しい職場は、そこにいるだけで気持ちがいいですね。二つ目の効果です。

自分が新人の頃を思い出してみてください。微笑んでいる上司、先輩と、いつも小難しい顔をしている上司、先輩、どちらに話しかけたくなったのでしょうか。笑顔は相手に安心感を与えます。笑顔があると、相手も話しやすくなります。そのことが、ちょっとした出来事も話せるような信頼関係を築き、コミュニケーションが活発になり、組織の活性化につながります。三つ目の効果です。

さらに、皆さんが、市民の立場になって、市役所を訪れた場合、笑いや笑顔に満ちた活気あふれる職場に魅力を感じるのではないのでしょうか。別に大声で笑う必要はありません。自然な笑顔で市民に接する気持ちが大切なのです。それだけで、市民の市役所に対する印象はさらに良くなるのではないのでしょうか。四つ目の効果です。

述べてきたように、笑顔には様々な効果があります。

幸いにも、今、私の周りには笑顔があり、笑いがあります。その結果、コミュニケーションが活発で風通しのよい職場となっていると思っています。皆さんの職場でも今日から是非、始めてみてください。スマイルを。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいなく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月18日(水)
担当者 消防本部次長 田埜 裕司

おはようございます。消防本部次長の田埜です。

消防職員になって40年経ちますが、日頃から仕事はレスポンスだと思っております。

何事も反応が鈍ければ、悪い方向に進んでいきます。それではレスポンスを良くする為に何をしたら良いか？

昔から段取り8分仕事2分という言葉があります。すべて物事には目的があります。確実に、かつ短時間でその目的を達成するには、実際の物事に取りかかる前に、前もって適切な手順をととのえることが不可欠です。

事前にキチンとした段取りさえしておけば、仕事の8割方は完了するということです。仕事に取りかかる前に、具体的に仕事を進める手順をきっちりと決めておけば、それだけ仕事の質とスピードは上がります。もちろん、仕事に取りかかると予想外のことがたくさん起こり 又、途中で段取りを見直すことが必要な場合もあると思いますが、何の段取りもなしに仕事に取りかかるのは余りにも無謀だと思います。

消防が出動する災害現場においても必要な資機材の準備や活動手順がキッチリしていればレスポンスの良いスピーディーな活動をすることができます。

市民は、何事に対しても早い対応を求めており、これに対応するには「段取りを常々考え」、仕事に取りかかるのは後であっても、段取りだけはすぐにやっておくことが必要だと私は思っております。

仕事をはじめ、遊びも「レスポンス一番！」ということを中心に心がけてほしいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月19日(木)
担当者 消防署長 山口 洋幸

おはようございます。消防署長の山口です。

私は昭和53年に消防士として現在の北広島市消防本部に採用され、早38年がたとうとしています。その間、色々な災害に対応してきましたが、特に思い出すのが昭和56年の水害です。輪厚川が逆流し、上流へと流れる様は今でも頭から離れることはありません。そして、残念なことに1名の殉職者を出してしまった唯一の災害でもありました。改めて亡くなられた消防団員の方のご冥福をお祈りしたいと思います。

今日はせっかくの機会ですので、消防の仕事の一部を紹介したいと思います。皆さんは消防って火災や救急の無いときは何をやっているんだろうと考えたことはありませんか。実はそのほかにも意外と沢山の業務があるんです。例えば、市内には約600基もの消火栓や防火水槽があり、その維持管理には意外と手間がかかります。

春には消火栓の水出し点検を兼ねた水圧の測定、夏は水利周りの除草、秋には凍結を防ぐために実施する水抜き、冬は降雪による除雪など本数が本数なので、結構骨が折れます。最近は市民の方が善意で除雪してくれる場所も結構あるので、非常に助かっておりますが、大雪が降った日には場所もわからないほど本体が隠れてしまうので探すのも大変です。

そして何よりも我々消防人にとって大事なのが普段の訓練です。何時如何なる災害が発生しても対応できるよう、普段から体を鍛え、実践さながらの訓練を繰り返し実施し、市民の皆さんの安全・安心を確保するため日々努力を重ねております。他にもまだまだ色々な仕事がありますが、是非また次の機会に紹介させていただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月20日（金）

担当者 企画財政部政策推進室企画課長 橋本 征紀

おはようございます。企画課長の橋本です。

本年度の人事異動で、新たに企画課長を務めさせていただくことになりました。よろしく願いいたします。

また、今日からは、課長職が朝のスピーチを担当させていただきます。

本年3月に策定しました「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、将来のまちづくりの中心となる20代、30代の若手職員で構成するワーキンググループの意見等を参考に、議論を進めてきました。

現在、企画課で取り組んでいます、北広島団地イメージアップ事業は、ワーキンググループから出された意見が実際に戦略に位置付けられ、動き出した事業です。

先月、企画課のスタッフと、北広島団地地区に住む、市の総合計画推進委員の4人で、トリムコース約5キロを歩いてきました。

目的は、北広島団地の魅力や資源を発掘することです。普段何気なく歩いている道も、ほんの少し意識するだけで、これまでには感じたことのない、また見えていなかった、まちの様子に気付かされます。

高台から馬追丘陵を望む眺望の素晴らしさ、整然と立ち並ぶ街路樹が街並みにアクセントを加え、それは、季節ごと様々な表情に触れることのできる期待感にもつながります。

北広島団地イメージアップ事業を始め、北広島団地地区に新しい人の流れをつくる取組が今年スタートします。市民、市役所が一体となって、まちの魅力や、地域の資源を掘り起し、市内外に向けて発信していくことが大切といえます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月23日（月）

担当者 企画財政部政策推進室政策広報課長 平澤 肇

おはようございます。企画財政部政策推進室政策広報課長の平澤です。

政策広報課は、広報紙の発行やホームページの管理、シティセールス、統計業務などを担当しております。

市民の皆さんへ市政情報についてお知らせをするほか、より多くの市外の方々に北広島市のことを知っていただけるよう、努力していきたいと考えております。

本日は、当課の担当する業務の中から、市のホームページ管理に関するお話をさせていただきます。

先日、課長会議でもお話しいたしましたが、市ホームページのトップページのアクセス数は、5年前の約3倍に増加しています。これは、スマートフォンの普及によるもので、現在はパソコンよりも、スマートフォンやタブレットによるアクセス数の方が多くなっています。一人ひとりに端末がいきわたり、多くの市民の皆さんに、いつでもどこでも気軽に市のホームページを見ていただくことができる時代になった、ということだと思えます。

私たちは業務が忙しいと、ついホームページの更新が遅れてしまいがちですが、市民の皆さんは、何か調べたいことがある時、ホームページを頼りにしています。

この朝のスピーチでも「親切的な市民対応」を毎日呼びかけていますが、わかりやすいホームページづくりを心がけ、充実させていくことは、画面の向こうにいる市民に対しての「親切的な市民対応」にほかなりません。是非、職員の皆さんも、自分が関わる制度や事業について、市民の皆さんに知っていただくという意識を持ち、積極的な発信とわかりやすい記事作りを心がけていただきますよう、よろしく願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月24日（火）
担当者 企画財政部財政課長 田中 宏明

おはようございます。財政課の田中です。

今日は、平成28年5月24日火曜日です。明治36年の今日、日本初のゴルフ場が神戸市に誕生したことに由来し、本日はゴルフ場記念日とのことです。

ご存知のように北広島市には、昭和33年にオープンした札幌ゴルフクラブ輪厚コースをはじめとして、全部で9か所のゴルフ場があります。昨年では35万人以上の方がプレーを楽しみ、1億9千万円ものゴルフ場利用税を納めていただきました。

おそらく道内では一番の収入額で、バブル華やかな頃に比べ約6割と、減ってはいますが市にとって貴重な財源となっています。

こうした特別な財源も、札幌圏という地の利が、私たちの街の都市化に貢献していることはいうまでもありません。

財政課の仕事は、こうした財源を基に、事務事業の執行計画である「予算」を編成することです。職員の皆さんがこの予算を執行することで、市民生活の向上と、街の発展が図られていきます。

昔、札幌千歳間にリニアモーターカーが走るという話がありました。いま、東京名古屋間でそれが実現しようとしています。また、とうとう北海道に新幹線が上陸しました。いずれ札幌市に到着します。これまで夢のような話が一つ一つ現実のものになっています。

昔から交通の要衝であったこの街も、まだまだ夢の語れる街だと思います。子供たちの夢に負けないように皆さん頑張りましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月25日（水）

担当者 企画財政部都市計画課長 諏訪 博紀

おはようございます。都市計画課長の諏訪です。

本日は都市計画課が担当している仕事について紹介させていただきます。

都市計画は都市の将来の発展を計画的に誘導し、秩序ある健全な市街地を整備していくことや、健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動を確保する事を目的に、土地の適正な制限のもと合理的な利用が図られよう計画を定めるものであります。

近年の人口減少、高齢社会の急速な進展などが、まちづくりを進めるうえで大きな課題となってきております。昨年、高齢社会の到来に備え、全市的に「土地利用計画制度の見直し」を行いました。「あるいて暮らせるまち」を目指して、身近なところに地域の日常生活を支える利便施設を立地できるよう、用途地域の緩和を行いました。これにより、住宅地の幹線道路の沿道に小規模店舗などの誘導を図る事が可能となりました。

今後は市街化区域と市街化調整区域の区域区分の見直しを行ってまいります。これまでのまちづくりは、人口や産業が拡大成長した時期に、郊外に市街地を拡大させ、都市機能の維持・向上を図ってきました。これからは、少子化の進行により、以前のように人口増加や右肩上がりの経済成長は期待できません。本市においても、コンパクトに集約した都市機能を実現することが求められております。まちを広げるよりも今のまちの範囲を充実させることが大切となります。

まちづくりは、都市計画の土地利用計画制度に加えて、各部局の施策と効果的な連携が必要であります。職員一丸となり、持続可能な都市経営の取組みを進めてまいりましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月26日(木)
担当者 総務部総務課長 高橋 直樹

おはようございます。総務課長の高橋です。

私の所属する総務課は、功労者や善行者の表彰、市役所庁舎や公用車の管理、条例や規則等の審査など、どちらかと言えば、管理的な内容の仕事が中心ですが、今年は、例年とは異なり大きなイベントが控えています。

北広島市は、今年、平成8年9月に市制を施行してから、20年目の節目の年となります。

このことを記念して、9月に市制施行20周年記念式典を開催いたします。この式典は、先人の遺徳に深く敬意と謝意を表すとともに、本市の益々の発展を願って、多くの方々にご出席頂き開催するものです。無事式典が開催できるよう今から準備を進めているところです。

また、私は、選挙管理委員会事務局の次長を兼務しておりますので、選挙についても触れさせていただきたいと思います。

今年は、すでに先月、衆議院北海道第5区選出議員補欠選挙があり、多くの皆様のご協力により、無事終えることができました。改めてお礼を申し上げたいと思います。大変ありがとうございました。

さらに今年は、7月に、第24回参議院議員通常選挙が行われる予定となっております。前回に引き続き、今回も多くの皆様のご協力をお願いいたします。

なお、今回の参議院選挙からは、選挙権が18歳に引き下げられ、国民全体の約8割の方に選挙権が与えられることとなります。

大切な一票を多くの方々に投票して頂きたいと思っておりますので、できましたら、皆さんからもご家族やご近所の方へお声がけしていただけるとありがたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月27日（金）
担当者 総務部職員課長 千葉 直樹

おはようございます。職員課長の千葉です。

今年度も新たに18名の職員が入庁しました。入庁した18名が元気で一生懸命仕事に取り組んでいる姿は好感が持てます。

職員の皆さんは自分が入庁したときを思い出してみてください。その当時は大変不安だったと思います。

先輩職員である私たちは、若い職員を育成する重要な役割を担っています。職場全体で若い職員をサポートしていただきますようお願いします。

職員の皆さんは職員人材育成基本方針の「求められる職員像」は覚えていることと思います。

「市民への貢献を最優先し、強い使命感を持ち、課題にチャレンジする職員」です。

この職員像のフレーズをぜひ、心に浸透させてください。

企業やスポーツで成果や結果を残す集団を見ると、指導者や代表者を筆頭に全てのスタッフが同じ目標に向かい一丸となって取り組んでいるところだと思えます。

私たちも北広島市役所という集団で、それぞれがこの集団の一員です。「チーム北広島」として、職員が個性を活かして一致団結し、市民からの信頼を得て、その期待に応えられる集団となれば素晴らしいことだと思いますし、良い結果に繋がると思えます。

日頃から「今何をしなければならないのか、これから何をしなければならないのか」を常に自分に問いかけ、それぞれが仕事や地域活動に取り組んで行くことはより強いチームにしていける事だと思います。

全職員が採用された頃を思い出し、何事も初心を忘れずに前向きに取り組んでいきましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月30日（月）
担当者 総務部行政管理課長 安田 寿文

おはようございます。行政管理課長の安田寿文です。

行政管理課は、平成27年度に、情報推進課から行政管理課へと名称変更をし、みなさんが利用するパソコンをはじめとする情報システムの総合管理や情報公開、個人情報保護制度、公文書管理のほか、平成27年度からは新たに行政組織機構や事務改善の見直しなど、庁内全体に関わる業務を行っています。今年度は、来年度に迫った新庁舎の情報システムネットワーク構築をはじめ、公文書管理の新たな手法である、ファイリングシステム導入に向け、現在、準備を進めているところであります。

特に新たに導入するファイリングシステムの詳細なスケジュールについては、来月から職員への説明会を開始し、その後、順次課単位で導入をしていく予定としています。このファイリングシステムを導入することで、担当者がいなくとも、必要な文書をすぐに見つけ出すなど検索する時間の大幅な短縮や、保存文書量が現行より約4割程度の縮減が図られるなどの効果が期待されています。これまでの簿冊管理の手法から変更することで、最初は戸惑いや不便さ、負担感などから不満を感じることもあるかもしれませんが、効果を最大限に生かすには、各職員が責任をもち、全庁一体で、取り組んでいただく必要があります。

行政管理課では、このファイリングシステムをはじめ、機能的、効率的な行政運営を行うための執務環境の整備や組織体制などがどうあるべきかを日々念頭に置き、各部局と協力を図りながら、業務を行っていきたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年5月31日（火）
担当者 総務部秘書課長 岡 謙一

おはようございます。秘書課の岡です。

今日で5月が終わります、4月には人事異動や組織の改編、新規採用の職員が入庁されるなど、各部署においては、新たなメンバーとなり、慌ただしい2か月だったのではないのでしょうか。

さて、今日は私が所属する秘書課の仕事をお話しさせていただきたいと思えます。

秘書課の仕事は理事者のスケジュール調整が主なもので、市役所内部の事業や業務をはじめ、市内外の各種事業などの連絡調整を行っております。

私は主査時代を含め、今年で秘書課勤務が4年目となります。秘書課の仕事を通じて、最近、改めて感じたことがあります。それは「報告」と「確認」の大切さということです。まず「報告」に関してであります。事案の顛末の報告はもちろんであります。経過報告・中間報告が特に大切だと感じております。

報告は口頭でも構いません。特にトラブルが発生した、発生しそうだと感じた時は、自分だけで処理しようとせず、先輩職員や同僚、上役に声をかけてください。

次に「確認」についてであります。仕事を進める中で、「これは、昨年と同じだろう」とか「メールで連絡してあるから電話までしなくてよいだろう」など、人間の「思い込み」が時に大きなミスにつながっているような気がするからです。再度、確認をするということは、「ひと手間増える」ように感じるかもしれませんが、大きなミスや事故につなげないための大切な作業と思っています。以上の2点を忘れずに、秘書課3名、健康1番で頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。